

発議案第 2 号

中東における早期停戦の実現と燃料高騰への緊急対策を求める意見書について

標記について、会議規則第 13 条の規定により別紙のとおり提出いたします。

令和 8 年 3 月 26 日

提出者	盛岡市議会議員	伊 勢 志 穂
賛成者	盛岡市議会議員	鈴 木 努
〃	〃	太 田 隆 司
〃	〃	縄 手 豊 子

盛岡市議会議長 櫻 裕 子 様

## 中東における早期停戦の実現と燃料高騰への緊急対策を求める意見書

本年2月28日、米国とイスラエルは、イランに大規模な軍事攻撃を行いました。現在、戦火は中東全域を巻き込んだ戦争に拡大しています。

ユニセフの発表によると、今回の軍事攻撃によって、イラン南部ミナブの女子小学校の168人の女の子をはじめ、180人もの子どもが命を落としたとされています。戦闘の終息は見通せないまま、同国はもとより中東全域で人道危機が拡大してきています。

また、ペルシャ湾とオマーン湾を結び、世界の原油輸送の約3割が通過して「世界のエネルギーの命綱」と呼ばれるホルムズ海峡は「封鎖状態」に陥り、原油価格の高騰が世界の経済危機を呼び起こしています。

国内の原油価格の高騰により、盛岡市内のガソリンスタンドにおけるレギュラーガソリンの店頭表示価格が一気に数十円値上がりし、市民生活にも大きな影響が出てきております。

燃料の高騰は、タクシー・バス・トラックなど交通運輸事業者の経営を圧迫するとともに、輸送コストの上昇は、現在もなお高騰を続けている食料品をはじめ物価高騰にさらに拍車をかけることにつながります。

これまで大企業を中心に賃金が引上げられてきましたが、その効果をはるかに上回る燃料の高騰の影響によって、市民生活が急激に悪化することが懸念されます。

緊迫した中東情勢の中にあって、今こそ、平和国家を標ぼうし、国連の安全保障理事国入りをめざしている日本は、この緊急事態を看過・放置してはなりません。

よって、国においては、下記の事項を可及的速やかに講じるよう強く求めます。

### 記

- 1 紛争当事国に対し即時停戦を呼びかけるとともに、中東全域に広がる人道危機への支援の拡充に向けて、国際社会において可能な限りの行動を起こすこと。
- 2 原油価格高騰に即応して、国民・事業者に対する緊急経済対策を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和8年3月26日

盛岡市議会